

# 中部日本ニュース

シネスコ版

道新 16116  
高新 16201  
新報 1629  
甲新 1640

今週の要聞 - 127頁 (本編トアへ追加)  
本編同

## No. 366

36. 1. 20

読者の声 寒川、元島 - 121頁 (本編トアへ追加)

### 一、今と昔の成人式

岩手

一月十五日は成人の日。岩手県大船渡市では、若者たちが晴れて一人前の祝福を受けました。しかし、この大船渡市の中でも佐野町は山に囲まれ、貧しい町のため、二、三男は、出稼ぎに出なければなりません。この苦しい生活を生き抜くため、百一年前の嘉永四年から佐野契約会と呼ばれる自治組織が今日まで残っています。  
この会では十六才を迎えた若者は、昔ながらの元腹を行なっています。連判状に血判ならぬ摺印を押して会の定めに誓うのです。  
晴れて祝酒をあげる、みちのくに残る昔ながらの成人式でした。

### 週間話題

#### 一、ダンプカー電車を突き落す

—東京

ダンプカーの暴走による事故が相次いで起きている折から一月十七日、またも東京で小田急電車とダンプカーが衝突しました。  
事故の原因は、現場が見通しのよい場所だけに、一時停車を怠ったのではないかと見られています。ラッシュタイムながら下り電車で乗客が少なかったのは不幸中の幸でした。

#### 一、公開された「永仁の腕まえ」

—東京

昨年重要文化財の「永仁のツボ」は全国に大きな話題をまき起こしましたが、「永仁のツボ」のニセモノ造りを自から任ずるのが加藤宇助さん。愛知県瀬戸市からはるばる花のお江戸に招ねかれて今日は、デパートの一般公開。  
ひょうひょうとした風貌とニセモノ造りの告白が、かえって人気を誘い個展の即売も予想外の売れ行きを見せています。

### 一、圧力団体

日本の群像

一兆九三七四億円という予算案をめぐって今年も分捕り合戦が繰りひろげられました。この予算騒動を圧力団体の予算獲得攻勢のうちからのぞいて見ましょ。  
「いくさなし」という大蔵省原案ができるや国の予算に利害をもつあらゆる団体が、直訴(じきそ)の陣情に押しかけ、大蔵省をはじめとする各省や、自民党本部は大変な混雑となりました。  
八百万という大組織の遺族会は全国から百数十名の代表を上京させ、最後のおいこみにかかりました。本拠の旧軍人会館で毎朝作戦会議を行ない直ちにバスを連ねて官庁街へ陣情に出かけるのが日課です。又圧力団体では今一方の雄・日本医師会も、医療費をあげてくれなきや診てあげませんとこれは大変高姿勢の挑戦です。

議員さんも選挙区大事と陣情団のあとおしをするので混乱は増々大きくなりました。かくして自民党が予算編成の正面にのりだし、かんじんの担当者、大蔵大臣や池田総理はすっかり影がうすくなってしまいました。どうやら最大の圧力団体は自民党だったようです。あおりをくったのは各省のお役人。連日の徹夜交渉で全くのグロッキー。そして損をしたのは国鉄・郵便料金・医療費と値上げ続きに悩まされる両なき国民のようです。

703頁

911頁

910頁

109頁

192頁